

みずほCustomer Desk Report 2024/12/16号(As of 2024/12/13)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】			公示仲値		153.04
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	152.59	1.0474	159.87	1.2675	0.6368
SYD-NY High	153.80	1.0524	161.52	1.2678	0.6383
SYD-NY Low	152.47	1.0454	159.77	1.2608	0.6352
NY 5:00 PM	153.70	1.0503	161.34	1.2609	0.6366
	終値	(前日比)	終値	(前日比)	
NY DOW	43,828.06	▲ 86.06	日本2年債	0.5600%	▲ 0.0200%
NASDAQ	19,926.72	23.88	日本10年債	1.0400%	0.0000%
S&P	6,051.09	▲ 0.16	米国2年債	4.2427%	0.0458%
日経平均	39,470.44	▲ 378.70	米国5年債	4.2473%	0.0557%
TOPIX	2,746.56	▲ 26.47	米国10年債	4.3937%	0.0591%
ソコ日経先物	39,690.00	35.00	独10年債	2.2470%	0.0580%
ロンドンFT	8,300.33	▲ 11.43	英10年債	4.4105%	0.0485%
DAX	20,405.92	▲ 20.35	豪10年債	4.3140%	0.0180%
ハンセン指数	19,971.24	▲ 425.81	USDJPY 1M Vol	9.75%	▲ 0.09%
上海総合	3,391.88	▲ 69.62	USDJPY 3M Vol	10.05%	0.04%
NY金	2,675.80	▲ 33.60	USDJPY 6M Vol	9.99%	▲ 0.07%
WTI	71.29	1.27	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.23%	Yen Call Over
CRB指数	293.96	0.69	EURJPY 3M Vol	10.17%	▲ 0.13%
ドルインデックス	107.00	0.05	EURJPY 6M Vol	10.15%	▲ 0.07%

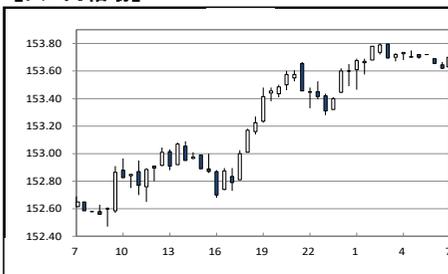
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月13日	09:01	英 GfK消費者信頼感	12月 -17	-18
	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	10月 2.8%/1.4%	-
	16:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	10月 -0.6%/-0.7%	0.3%/0.2%
	16:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	10月 -0.6%/0%	0.2%/0.9%
	16:45	仏 CPI(前月比/前年比)・確報	11月 -0.1%/1.3%	-0.1%/1.3%
	19:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	10月 0.0%	0.0%

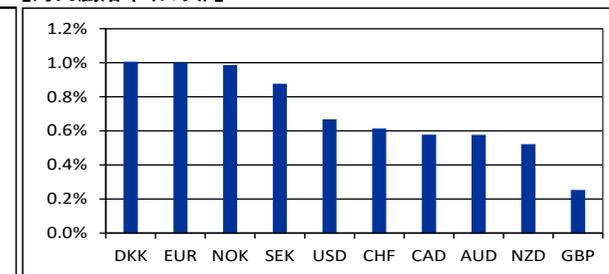
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月16日	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	11月 5.4%	5.3%
	11:00	中 小売売上高(前年比)	11月 5.0%	4.8%
	17:30	独 製造業/サービス業PMI・速報	12月 43.1/49.3	43/49.3
	18:00	欧 製造業/サービス業PMI・速報	12月 45.3/49.5	45.2/49.5
	22:30	米 NY連銀製造業景気指数	12月 10	31.2
	23:45	米 製造業/サービス業PMI・速報	12月 49.5/55.8	49.7/56.1

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	153.00-154.30	1.0400-1.0550	160.50-162.00

【マーケット・インプレッション】

金曜日のドル円は一日を通して堅調な推移。日銀短観がまちまちの結果だったことに加えて、12月日銀金融政策決定会合での政策金利据え置き観測がドル円を押し上げた。152.59レベルで東京時間オープンを迎え値を切り上げるとNY時間には153.80をつけた。

本日のドル円は12月FOMC、日銀金融政策決定会合を控え、様子見の動意薄い相場と予想する。市場ではFOMC12月会合での25bpの利下げを9割強織り込んでおり、焦点はドットチャートから読み取れる来年25年度に想定される利下げ回数か。本日は米12月PMIが発表されるものの、今週半ばの重要イベントを控え、影響は限定的と考える。日本サイドは注目される経済指標の発表は控えていないことを鑑みても、本日はレンジ内での値動きに終始しそうだ。

東京	東京時間のドル円は152.59レベルでオープン。朝方発表の日銀短観において景況感の底堅さは確認されるも、12月金融政策決定会合における追加利上げ観測の再燃までには至らず円売りに反応。152円後半でもみ合いながら一時153.09まで上昇した後は、利食い売りに押され値重く推移し、結局152.90レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ドル円は上昇した。日銀が来週の金融政策決定会合(12月19日)で利上げはせず据え置きとするのではないかとの市場での観測が続き152.90レベルでオープン後、高値153.66を付け、153.45レベルでニューヨークへ渡った。マクロ大統領は今朝、中道派のハイル氏をフランスの新首相に指名した。政局安定が期待されユーロは上昇した。1.0461レベルで始まり、1.0519の高値を付け上値を探りながらニューヨークへ渡った。ポンドは1.2655で始まり、英国の10月の月次GDPは前月比-0.1%と予想0.1%を下回ったことなどを受け1.2619まで売られた。その後は徐々に値を戻し1.2663レベルでニューヨークへ渡った。尚、市場は、BOEの会合(12月19日)を前に来週発表される英国の重要な指標に注目している。
ニューヨーク	海外市場のドル円は152円台後半でスタート。一部で報道された「日銀が今月の金融政策決定会合で利上げの見送りを検討」とのヘッドラインや、米金利の上昇受け底堅く推移し、153.45レベルでNYオープン。本日は特段注目の米経済指標の発表が無い中、米金利が上昇幅を拡大する動きを受けたドル買いが強まり、153.80付近まで続伸。午後は週末を控える中、高値圏の153.70付近を中心とした推移が続き、153.70でクロス。一方、海外市場のユーロは1.04台後半でスタート。独10月貿易収支が予想を下回り、1.0454まで下落する場面もあったが、その後独長期金利が上昇する展開に買い戻しが優勢となり、1.0517レベルでNYオープン。午前中は米金利が一段と上昇する展開が上値を抑え、1.0483まで反落。午後は1.0490付近を中心とした動意乏しい推移が続き、1.0503レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。